



島々の話題 ISLANDS' TOPICS

6/16
《魚島》

元気な集落づくり応援団 マッチング事業

6月16日、高井神島で港周辺や集落の草刈など清掃を行いました。今年、「伊予銀行伯方支店」と「おいでんさいグループ」の応援団を始め、愛媛県職員、上島町職員、元気な島づくり実行委員会、地元住民等、昨年を上回る総勢59人が参加しました。

時々、小雨がパラりましたが、午前9時から2時間の作業で、島は大変綺麗になりました。また、終了後は、地域の人々との交流会も開催されました。

ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございます。ございました。



上島町がきれいになりました！

上島町各地区において、海岸等の清掃を行いました。

6月9日には弓削地区全域の一斉清掃、6月10日、17日には生名地区全域の清掃、6月26日には魚島の大木海岸の海岸清掃、5月27日、7月7日には岩城地区の一斉清掃、海岸清掃がそれぞれ行われました。

ビンや缶、流木などたくさんさんのゴミが回収され、上島町がきれいになりました。

参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。



上弓削地区高浜神社周辺

6/15
《岩城》

五穀豊稔祈願 新嘗祭献穀粟播種式

6月15日、岩城地区において、上島町長をはじめ農業関係者など約40名が出席して「新嘗祭献穀粟播種式」が厳かに執り行われました。新嘗祭は、全国から奉献された新穀を天皇が神々に備えてその年の収穫に感謝する重要な宮中行事で、毎年11月23日（勤労感謝の日）に行われます。

今回上島地区では、百年ぶりともいわれる新嘗祭に献穀する粟の奉耕者に選ばれたのは岩城地区の岡田兼藤さん夫妻で、岡田さんが所有する約1アールの畑がしめ縄で囲まれ、献穀圃となりました。

播種式は、宮司から授けられた粟の種子を白

張（平安時代の衣装、淨衣の一種）を身にまとった岡田さんが献穀圃に蒔いた粟を鋤で埋めていき、来る収穫の秋に素晴らしい実りが得られ、無事献穀が果たされますよう出席者全員で祈りました。



6/17

イノシシ肉の試食会開催

6月17日、せとうち交流館大ホールにおいて、午後2時からイノシシ肉「試食会」を開催し、獣肉処理加工施設の見学会も同時開催され、加工施設見学会では、施設の概要、施設の利用方法などを説明しました。

イノシシ肉「試食会」は、農作物等鳥獣害防止対策協議会からの挨拶、続いて、生活研究協議会から試食料理のレシピ等の説明、そして上島町長の挨拶から始まりました。

生活研究協議会が用意した料理は、いのしし飯、ハーブ漬け焼き、塩コショウ焼き、ハーブ唐揚げ、いのししのゴボウ豆乳汁、いのししと甘夏みかんのサラダの6品目で、お客様から「くさくない」「これなら買える」との感想が聞かれました。

試食後には多数の方にアンケートをいただき、調理する人、商品を提供する人にとって大変参考になる意見を頂戴いたしました。今後は町の郷土料理のひとつとして、素材を活かし、安定した商品を提供できるよう、努力致しますので、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。



7/1

第21回 関西岩城会 開催

7月1日、大阪市北区のグリーンプラザ大阪アネックスにおいて、平成24年度第21回関西岩城会総会が72名の参加者で盛大に開催されました。総会では、来賓を代表して上村町長の祝辞や新会長の就任挨拶の後、東日本大震災の被災地であり、過去に岩城の渇水期に飲料水を送って頂いた福島県いわき市への募金について承認、喜寿や古希、還暦者に記念品の授与、全員で記念写真を撮影し、永久名誉会長の前田盛幸さんの音頭で親睦会が始まりました。

カラオケ大会では、岩城民謡「いもの茎」を八原元会長が朗々と歌い、途中ジャンケン大会をはさみ、カラオケの最後には上島町長が「北国の春」を岩城を想う替え歌で披露し、大いに盛り上がりました。

久しぶりに再会した方々は、ふるさと岩城の話をする時、日頃の大阪弁から岩城弁に切り替えて、懐かしい昔話に花を咲かせておられました。

今後この親睦会が継続・発展するためには、高齢化してきた参加者の若返りが必要で、我々も微力ながらお手伝いさせていただきます。皆さんらと元気に再会できることを祈っております。



6/18

《岩城》

エコな暮しを…

6月18日、Aコープいわき店前の旧米倉庫において、レトロな雰囲気フリーマーケットが開催されました。個人宅で少人数からはじまり、現在7名の皆さんで、手作りの品や、家庭で使わなくなった生活用品、雑貨、子ども服などの不用品を捨てるのではなく、必要としている人に活用してもらえばと、格安で販売し、リサイクル活動を行っています。また、各ブース毎に品物をセンス良くレイアウトしており、買い物客を楽しませていました。



6/25

《岩城》

地産地消 生産農家と3年生との給食試食会

6月25日、岩城小学校において地域食材を学校給食に提供している「うまい会」の生産農家と、3年生の児童との給食試食会が開催されました。3年生の児童たちは、レモンタイムで地元の農家の方を訪問して調べたことや、自分たちで育てている野菜の病害虫の駆除の仕方などを生産者の方々に質問したり、教えてもらいながら楽しく交流しました。その後、地元でとれた旬の玉ねぎや、じゃが芋などの食材を使った給食を一緒に試食しました。児童たちは、地元の食材はおいしいと、元氣よくおかわりしていました。栄養士の先生も、「うまい会」の農家の方のおいしい旬の野菜を、献立を変更したり、追加したりしながら地元野菜をより多く使用していきます。また、給食に出される柑橘は「うまい会」の生産者の協力により、100%上島町産のものが使われています。



6/23

上島町健康まつり&いきいきクリーン・ウォーキング

6月23日、上島町健康まつり&いきいきクリーン・ウォーキングが開催されました。

いきいきクリーン・ウォーキングは、生名小学校からせとうち交流館までの約5kmのコースをごみを拾いながらウォーキングをするもので、ポイ捨て防止キャンペーンの一環として行われ、約181人が参加し、コース上のごみを一生懸命拾っていました。

また、せとうち交流館、弓削地域交流センターでは、上島町健康まつりが開催され、健康体験コーナー、親子ふれあいコーナー、喫茶コーナーなどが設けられ、たくさんの方が賑わっていました。

11時30分からは、日本笑い学会会員 隠岐和之先生による「笑いと健康」ユーモアは心と体の妙薬」と題して講演会が行われ、ユーモアを交えた隠岐先生のお話に聴衆の皆さんは耳を傾けていました。



たくさん拾いました



隠岐和之先生による講演会



上島町健康まつり

いきいきクリーン・ウォーキング
生名小学校を出発

7/1

上島町人権・教育講演会 「ぬくもりを感じて」

7月1日、せとうち交流館において、徳島県人権・同和教育講師団の中倉茂樹さんを講師にお招きして、上島町人権・同和教育講演会を開催しました。

中倉さんは、時には聴衆に意見を求めつつ、実体験に基づくお話をユーモアを交えながら熱く語ってくれました。



6/26

俳句甲子園全国大会出場決定

6月26日、NPO法人俳句甲子園実行委員会は、第15回俳句甲子園全国大会に出場する36チームを発表しました。上島町からは岩城地区の中村恵己さん、戸川沙稀さん、福岡日向子さん、檀上佳那さんが伯方高等学校Bチームのメンバーとして全国大会へ出場します。

生徒のみならず、8月に開催される全国大会での一層のご活躍を期待しています。



県予選の様子



7/7

《岩城》

海岸清掃活動 「リフレッシュ瀬戸内」を実施しました。

7月7日、梅雨空のもと海水浴シーズン前にボランティアによる岩城島全域の海岸清掃「リフレッシュ瀬戸内」を実施しました。小学生・中学生をはじめ、保護者、地元企業、役場職員など、約200名の方々の参加をいただき、海岸に漂着したビン・カン・ペットボトル・発泡スチロール・流木等約2トンのごみを回収することが出来ました。

この「リフレッシュ瀬戸内」は、瀬戸内・海の道ネットワーク推進協議会の事業の一環として、海岸の清掃活動を通じて、美しい海を守っていくことを参加者をはじめ多くの人々に訴えていくことを、目的に取り組んでいる活動です。

私たちの手ですばらしい上島の海の姿を未来に残しましょう。



犯罪・非行防止を呼びかける

6月23日に生名小学校、7月1日に魚島港、6日に岩城港、9日に弓削港において、7月の「社会を明るくする運動」強調月間並びに「ダメ。ゼッタイ」普及運動の街頭キャンペーンが行われました。

当日は、保護司をはじめ、民生児童委員、有害薬物乱用防止指導員、更生ボランティア、少年警察協助力員、伯方地区防犯協会、伯方警察署、学校関係者、防犯相談所長、町行政関係者等が船便利用の乗降者や周辺通行人に、犯罪・非行防止を呼びかけ、さらに有害薬物乱用に陥らないよう協力をお願いしました。



7/14

《生名》

夏越の大祓祭 (茅の輪くぐり)

7月14日、生名八幡神社において、夏越の大祓祭(茅の輪くぐり)が行われました。

これは、茅で作った輪をくぐり、和紙で作った「人形」をご神前におさめれば、暑い夏を災いなく無事に過ごせると言われる行事で、生名地区の伝統文化行事となっており、住民の方々がご参りされていました。



7/10

平成24年度 上島架橋

促進協議会総会

7月10日、弓削地区せとうち交流館多目的ホールにおいて、平成24年度上島町架橋促進協議会総会が開催されました。この協議会は弓削島・佐島・生名島・岩城島を橋でつなぐことにより、上島町の一体化を推進し、地域のさらなる発展に寄与することを目的に設置された協議会で、当日は、上村町長、杉浦東予地方局今治土木事務所長のあいさつ、上島架橋の現況報告等があり、最後に質疑応答が行われました。



7/14

B & G 弓削海洋クラブ 結団式

7月14日、弓削地区松原海水浴場において、B & G海洋クラブの結団式が行われ、艇庫周辺の清掃を行いました。



7/15

弓削中櫓漕ぎ大会

7月15日、弓削中学校前の海岸において、夏の恒例行事である櫓漕ぎ大会が行われました。この櫓漕ぎ大会は、今年で26回目の開催となり、生徒たちは、漕ぎ手を順番に交代しながら、力強く櫓を漕いでいました。そして紅白に分かれてのレースのほかに保護者のレースも行われ、大変盛り上がり上がっていました。



7/19

やり投げオリンピック 村上幸史選手壮行会

7月19日、生名小学校体育館において、ロンドンオリンピックの陸上やり投げの日本代表に選ばれた村上幸史選手の壮行会が行われました。会場には村上選手を応援しようと地元小中学生や住民など約400人を超える人たちが集まりました。

当日、村上選手は魚島小学校の日吉未梨亜さん、大林香澄さんの先導でスティックバルーンでの拍手に迎えられ入場してきました。

まず、上村町長から来場した小中学生に向かって「皆さんの目の前に超人がいるという事をしっかりと記憶に焼きつけて頂きたい。見えないところで努力している村上選手の姿に学び、努力すれば皆さんも必ず村上選手のような超人になることができます。」と語りかけていました。続いて、岩城中学校の澤田俊さんからの応援メッセージ、生名小学校の福井和香さんからの花束贈呈、岩城小学校の西本晴貴さんからの色紙メッセージ贈呈、弓削小学校の今井咲希さん、大洲翔真さん、根間ひなたさんからの横断幕贈呈、後援会会長代理濱田建夫さんからの国旗、応援旗贈呈、ビデオレターの上映、児童・生徒全員による応援歌合唱が行われました。

その後、村上選手が「この日をしっかりと思いながら、ロンドンで最高の投てき、最高のパフォーマンス、そして何よりも応援してください。」と挨拶をしました。

最後に村上選手とのハイタッチが行われ、壮行会終了後、村上選手と記念撮影が行われました。

ロンドンオリンピックでは、村上選手は8月8日の予選から出場します。皆さんも、郷土の星である村上選手が好成績を残せるよう応援しましょう。

